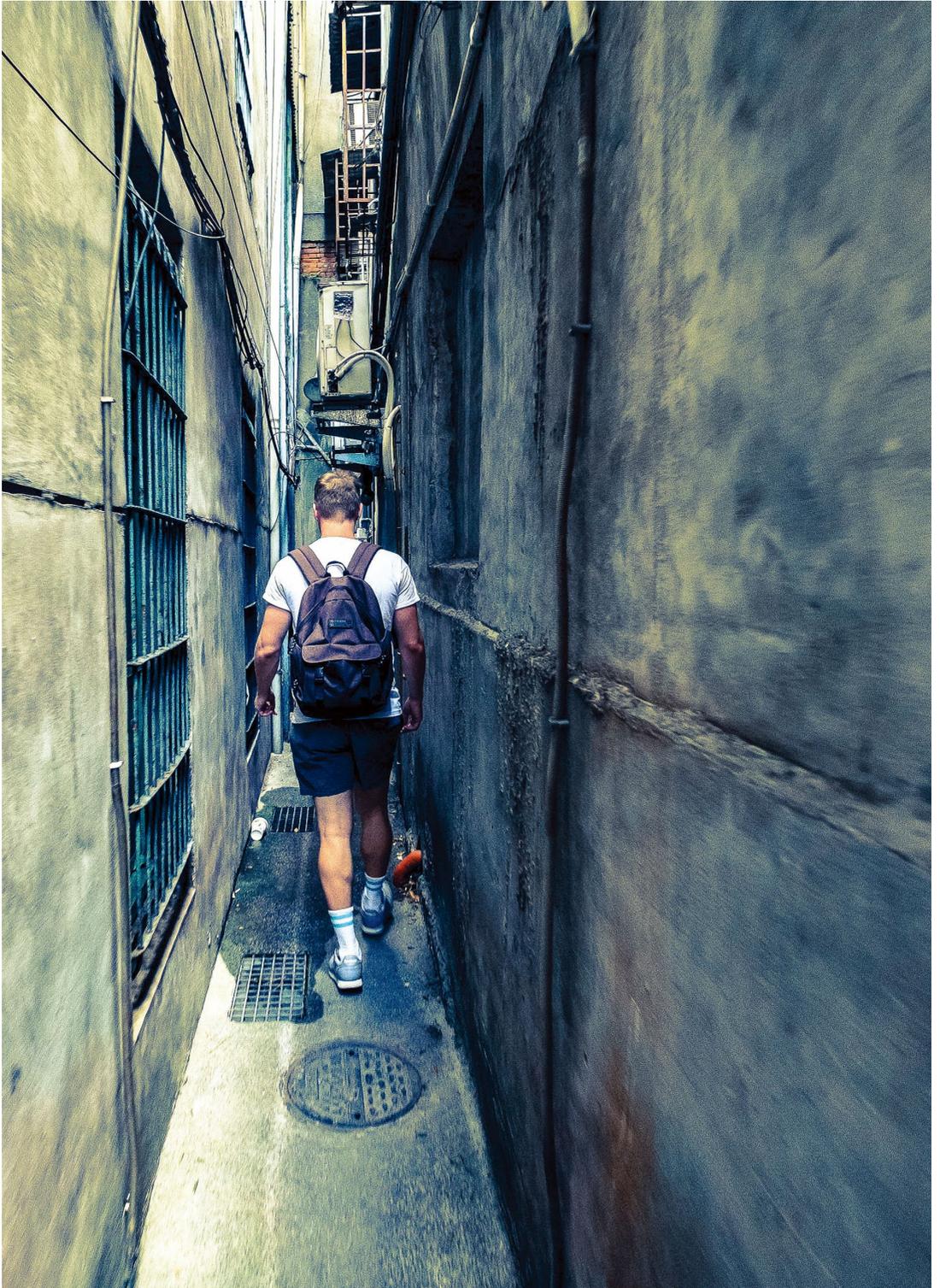


STORIES FROM THE CAPITAL

24
ISSUE



2021 夏季号

TAI^台PEI^北

グローバルな視点で、ローカルを歩く
特集記事

第二の故郷 外国人移住者が台北を愛する理由

TAIPEI

PICK UP POINTS 本誌は以下の場所で無料で配布しています。

台北市政府観光傳播局 /
台北市觀光傳播局
Department of Information and
Tourism, Taipei City Government
☎ 1999 内線 7564
〒 台北市市府路 1 号 4 階

台湾桃園國際空港第一ターミナル 到着
ロビーのトラベルサービスセンター
Tourist Service Center at Arrival Lobby,
Taiwan Taoyuan International Airport
Terminal 1
☎ (03)398-2194
〒 桃園市大園区航站南路 9 号

台湾桃園國際空港第二ターミナル 到着
ロビーのトラベルサービスセンター
Tourist Service Center at Arrival Lobby,
Taiwan Taoyuan International Airport
Terminal 2
☎ (03)398-3341
〒 桃園市大園区航站南路 9 号

美國在台協會 / アメリカ在台湾協会
American Institute in Taiwan
☎ (02)2162-2000
〒 台北市金湖路 100 号

遠企購物中心 /
遠企ショッピングセンター
Taipei Metro the Mall
☎ (02)2378-6666 内線 6580
〒 台北市敦化南路 2 段 203 号

國語日報語文中心 /
國語日報語学センター
Mandarin Daily News
(Language Center)
☎ (02)2341-8821
〒 台北市福州街 2 号

台北松山機場 / 台北松山空港
Taipei Songshan Airport
☎ (02)8770-3430
〒 台北市敦化北路 340-9 号

瓶蓋工廠台北製造所 /
瓶蓋工場台北製造所
POPOP TAIPEI
☎ (02)2785-9900
〒 台北市南港路 2 段 13 号

台北美國學校 / 台北アメリカンスクール
Taipei American School
☎ (02)2873-9900
〒 台北市中山北路 6 段 800 号

國立國父紀念館 / 国立国父紀念館
National Dr. Sun Yat-sen
Memorial Hall
☎ (02)2758-8008
〒 台北市仁愛路 4 段 505 号

國立中正紀念堂 / 国立中正紀念堂
National Chiang Kai-shek
Memorial Hall
☎ (02)2343-1100
〒 台北市中山南路 21 号

台北當代藝術館 / 台北当代芸術館
Museum of Contemporary Art
(MOCA), Taipei
☎ (02)2552-3720
〒 台北市長安西路 39 号

市長官邸藝文沙龍 /
市長官邸アートサロン
Mayor's Residence Arts Salon
☎ (02)2396-9398
〒 台北市徐州路 46 号

台北國際藝術村 / 台北国際芸術村
Taipei Artist Village
☎ (02)3393-7377
〒 台北市北平東路 7 号

台北二二八紀念館 / 台北二二八紀念館
Taipei 228 Memorial Museum
☎ (02)2389-7228
〒 台北市凱達格蘭大道 3 号

交通部觀光局旅遊服務中心 /
交通部觀光局トラベルサービスセンター
Travel Service Center, Tourism Bureau,
M.O.T.C.
☎ (02)2717-3737
〒 台北市敦化北路 240 号

光點台北 / 光点台北
SPOT-Taipei Film House
☎ (02)2778-2991
〒 台北市中山北路 2 段 18 号

台北市政府市民服務組 /
台北市役所市民サービスカウンター
The public service group of
Taipei City Government
☎ (02)2720-8889 / 1999 内線 1000
〒 台北市市府路 1 号

士林官邸 / 士林官邸
Chiang Kai-shek
Shilin Residence
☎ (02)2883-6340
〒 台北市福林路 60 号

台北市孔廟 / 台北市孔子廟
Taipei Confucius Temple
☎ (02)2592-3924
〒 台北市大龍街 275 号

台北記憶倉庫 / 台北記憶倉庫
Taipei Info Hub
☎ (02)2341-4597
〒 台北市忠孝西路 1 段 265 号

松山文創園區 /
松山文化クリエイティブパーク
Songsshan Cultural and
Creative Park
☎ (02)2765-1388
〒 台北市光復南路 133 号

華山 1914 文化創意產業園區 /
華山 1914 文化クリエイティブパーク
Huashan 1914 Creative Park
☎ (02)2358-1914
〒 台北市八德路 1 段 1 号

國立台灣博物館 / 国立台湾博物館
National Taiwan Museum
☎ (02)2382-2566
〒 台北市襄陽路 2 号

亞典圖書公司 / 亜典書店
Art Land Book Co. Ltd.
☎ (02)2784-5166
〒 台北市仁愛路 3 段 122 号

台北市立圖書館 / 台北市立図書館
Taipei Public Library (Main & branches)

台北市旅遊服務中心 /
台北市觀光案内所
Visitor Information Centers in Taipei

MRT 各駅
All Stations of MRT Lines

伊是咖啡 / IS コーヒー
Is Coffee

誠品書店 / 誠品書店
eslite Bookstore

金石堂書店 / 金石堂書店
Kingstone Bookstore

▲ COVID-19 ALERT

* 新型コロナウイルスの防疫規範により、
営業状況は変更となる可能性があります。
詳細は政府の発表か各場所の案内を
参照してください。

グローバルな 視点で見る 台北の魅力



世界では未だに新型コロナウイルスが流行中です。そんな中、台北では多くの外国人が生活しています。今季の《TAIPEI》では「グローバルな視点で、ローカルを歩く」をテーマに、台北が多くの外国人を魅了する理由や移住者の実際の生活などを紹介していきます。

最初のカバーストーリーでは、国籍や滞在年数の異なる6人の外国人移住者にインタビューを行い、台北の魅力や実際の暮らし、おすすめのスポットをピックアップ。

また、台北は外国人が集中するエリアがいくつか存在します。その理由やエリアの特徴についてもまとめました。

他にも台北には夏らしい伝統的な節句があります。《TAIPEI》ではこうした文化や現地の人たちの生活など、あまり知られていない台北の姿をお伝えしていきます。

さらに定番と言えば飲食ですが、現在はローカルの食材を使って外国の風味を作り出す変わった料理が増えています。加えてスローフードという文化やチョコレートブランドなど独特な風味の世界について紹介していきます。

台北は様々な経歴を持つ外国人が多いですが、世界各国のホテルで働き、現在は台北の5つ星レストランの経営に携わる人もいます。今回その方にインタビューをしてビジネスの考え方を伺いました。

様々な面で世界的に注目を集めている台北ですが、今季の《TAIPEI》を読むとその理由も納得がいくはずです。様々な記事を通して台北の新たな一面を見つけてみましょう。

▲ 新型コロナウイルスに関するお知らせ

1. 新型コロナウイルスが流行している内は、外出時に必ずマスクを着用し、政府の発表する防疫規定を遵守してください。各観光スポットや店舗へは流行が終息してから行くことをオススメします。
2. 本号に掲載されている写真は資料用のものが多く含まれていますので、マスクを着用していない写真も使用されています。



アンケートに答えて
抽選キャンペーンに参加しよう！

グローバルな視点で、 ローカルを歩く

📖 COVER STORY

04 第二の故郷 外国人移住者が台北を愛する理由

🏠 CITY SCENE

14 台北の住居について知ろう 外国人に人気の3つのエリア

22 台北のリトル・フィリピン「中山区」を歩く

26 台北に住むムスリムたちの架け橋

👥 CULTURE & LIFESTYLE

30 全世界が熱狂！？風を切り、波に乗る台北のドラゴンボートチーム「黒潮龍舟隊」

36 古き良き台北人に続いて大龍峒を掘り下げる

🔄 A CITY FOR CHANGE

40 台北を駆けるプライドリボン

🍴 FOOD & DRINKS

48 親子でクッキング 食べる楽しさを学ぶ

52 ローカル食材の美学を尊重 台北のスローフード精神

57 台北で味わう思いのこもったチョコレート

🕒 A DAY IN THE LIFE

62 ホテル経営と台北生活の哲学



TAIPEI 郵政割撥（郵便振替）での定期購読について / 6期

振替口座番号 / 16630048

振替口座名義 / 台北市観光伝播局

台湾国内 NT\$180 元 (普通郵便で発送)

香港・マカオ NT\$540 元 (航空便で発送)

アジア太平洋地域 NT\$660 元 (航空便で発送)

ヨーロッパ / アメリカ / アフリカ地域 NT\$900 元 (航空便で発送)

台北市観光伝播局

書面による許可なく本誌の全部または一部を複製・複写することはできません。



オンライン雑誌：www.travel.taipei/ja
> マルチメディア > TAIPEI



本誌は大豆インクを採用
しています。

TAI PEI 台北



発行者 / 劉奕霆 編集長 鄒佳穎 編集 / 林彥男、林婉婷 マーケティング / 陳其睿、李宗岳、陳俐雯 翻訳 / 下山敬之、吳婕如
カバーデザイン Broo 品牌釀造室

台北市觀光傳播局 住所 / 台北市市府路1号4階 Tel / 1999 (台北市外からは 02-2720-8889) 内線 7564 または 2029 Fax / (02)2720-5909
Email / taipei_quarterly@mail.taipei.gov.tw ISSN / 24137774 GPN / 2010402343

本誌に対するご意見、ご要望などがございましたら、是非、E-mail またはファックスにてお寄せください。

デザイン Taiwan Scene 讓世界愛上台灣股份有限公司 Tel / (02)2562-5005 Fax / (02)2562-5505

中華郵政台北雜字 第 1377 號執照登記為雜誌交寄 / 本号定価 NT\$30 元



02

第二の故郷

外国人移住者が 台北を愛する理由

文：Rick Charette 編集：下山敬之 写真：Yenyi Lin、Samil Kuo、Taiwan Scene、斎藤睦、ICRT、Craig Ferguson、Yenping

国際色豊かで様々な文化が共存する台北は、世界各国から移住してきた人たちが何千人も生活しています。その理由は、外国人が不自由なく暮らせる世界的にも珍しい都市だからです。最初は軽い気持ちで訪れた人も、永住とまではいかなくとも長期間滞在を決心し、多くの外国人が「故郷」と考えます。今季の《TAIPEI》では、出身国や在住年数の異なる6名の台北在住外国人にインタビューを行い、台北での暮らしや仕事、台北を故郷と考える理由について語っていただきました。



01



03

トム・ロックさん
Tom Rook
 イギリス

イギリス南西部のエクスマウス出身のトム・ロックさんは、台北に移住して10年以上になります。トムさんは夏休み中のインド旅行で出会った知人から台湾のことを聞き、移住を考えました。「大学最後の年は、台北への移住プランについてずっと考え続けていました。私は Reach of Teach という代理店経由で仕事を見つけてから移住し、それ以来イギリスには戻っていません」。

イラストレーターとして活躍するトムさんは、大型3Dマップと都心の上空イラストの制作を得意としています。「ここ数年間はフルタイムのイラストレーターとして働いています。イリス南西部のエクスマウス出身のトム・ロックさんは、台北に移住して10年以上経つトムさんは、その多くの時間を台北探索に費やし、様々な視点から観察を行いました。「萬華駅と台北橋の北に位置する大同エリア周辺をよく散歩します。これらのエリアには、富裕化現象によって消えていった清朝時代の貴重な建物が多く残されています」。トムさんは歴史的建造物への情熱を見せながら、過去の台北の様子が分かる建築例を紹介してくれました。市内にある旧市街は、過去の台北の姿を知ることができ、過去と現在のグラデーションが強く残る市内有数のスポットです。この他に

も観光地として人気の高い大稻埕、あまり知られていない隠れたおしゃれスポットの大安區青田街、信義區四四南村などがあります。

- 01. 住みやすい生活環境が整っている台北は、移住したい都市として外国人から注目を集めています。
- 02. レトロな雰囲気の漂う萬華區の剥皮寮は、イラストレーターであるトムさんのインスピレーションを刺激する場所です。(写真 /Yenli Lin)
- 03. 四四南村は数少ない完璧な状態で保存された眷村です。60年代のレトロな台北の雰囲気が味わえます。

ジョー・ヘンリーさん
Joe Henley
 カナダ

カナダのサスカチュワ
 ン出身のジョー・ヘンリ
 ーさんは15年以上に渡り
 台北で生活しています。
 お仕事はジャーナリスト、
 作家、ミュージシャンと
 幅広く、フリーライター

としてタイペイ・タイム
 を始めとする様々な雑誌
 に寄稿しながら、音楽活
 動をしています。ライブ
 は台湾だけでなく、フィ
 ンランドで開催すること
 もあるそうです。

「私は Dharma (ダー
 マ：達磨楽隊) という仏
 教徒で結成したデスメタ
 ルバンドのリードシンガ
 ーをしています。私たち
 のバンドは仏教徒がメタ
 ルを弾いているというこ

とで最近注目されるよう
 になってきました。主に
 台湾各地のイベントで演
 奏をしています」。同バ
 ンドは4月に開催された
 台北素食生活節というイ
 ベントでも演奏を披露し
 ています。「海外ツアー
 を開催したいのですが、
 現状を考えると今すぐは
 無理ですね」とジョーさ
 んは話します。

強い愛着を感じているそ
 うです。「安全で驚くほ
 ど便利なので、素晴らし
 い街です。ダウンタウン
 でも買い物ができますし、
 近くの山まで30分もかか
 りません。それにハイ
 キングやお茶も楽しめま
 す」。

るアートスペースです。
 ここには佳佳唱片のよう
 なレコード店が多数立ち
 並び、ダンスやラップな
 どのストリートパフォー
 マーが技に磨きをかけて
 います。かっこよくてダ
 イナミックで、とても活
 き活きしています」。台
 北市映画主題公園では、
 パフォーマンスを披露す
 る人たちの他に、見事な
 グラフティアートも楽
 しめます。



04



05

04. ジョーさんが所属するメタルバンド「Dharma」は、よく台北の音楽イベントに参加しています。(写真/Samil Kuo)

05. 西門町の周辺は至るところにペイントが施された、台北のストリート文化が体験できるスポットです。



06

齋藤睦さん
Mutsumi Saito
日本

群馬県出身の齋藤睦さんは台北に住んで2年が経ちます。東呉大学に3ヶ月留学した後、仙台で台湾人を対象とした日本の旅行のプロモーションの

仕事に就き、そこから事業をスタートするために台北へ移住しました。「現在は小さな会社を営んでいます。私たちの業務は、台湾人向けの日本旅行プロモーションと、日本人旅行者に特化した台湾旅行のマーケティングの2つです」。

移住から2年を経て台北の生活には馴染みましたが、全てが順風満帆というわけではありません

でした。「来たばかりの頃は、それほど中国語ができなかったのですが、テナント契約を結ぶ時に、書類の内容が分からず怖かったことを未だに覚えています」。また、台湾人と日本人とでビジネスのスタイルも違うため、次から次にトラブルが発生しました。「日本人は全て事前に準備をして、計



07

画通り行うことが多いですが、台湾のクライアントの大半はプロジェクト開始後に変更を重ねる傾向にあります。これは慣れるのに苦労しました」。アウトドア好きの齋藤さんは台北での暮らしが気に入っているそうです。「台北アリーナ周辺や大直にある自宅の周りから近くのリバーサイドパー

クをよくジョギングします」。台北でジョギングをする人の多くは、コースを市内の道路に限定せず、川沿いまで足を延ばして景色を楽しみます。「前に温泉に行ってから陽明山もお気に入りになりました。また、北投は私をはじめ、多くの温泉愛好家たちに人気の場所です」。陽明山国家公園の山麓にある北投は公衆浴場とホテルの貸切浴場が多々あります。齋藤さんが北投へ行く際は、陽明山のハイキングも欠かせないオプションなのだそう。

06. 日本から台北に移住して働いている齋藤さんは、日本とは異なるビジネスルチャーに慣れる必要があったと言います。(写真/齋藤睦)

07. 山や森といった自然へのアクセスのしやすさが外国人を引きつける理由の一つです。

プラシャンタ・ラチャナさん

Prashantha Lachann

南アフリカ

ローヴィーガンとのシェフとして働くプラシャンタ・ラチャナさんは、「シエフ・プリツシユ」と呼ばれる。南アフリカのヨハネスブルグ出身の彼女は、2006年に台北へ移住しました。もともとは、台湾で英語を教えるために1年間だけ滞在する予定でしたが、すでに14年が経過。プラシャンタさんはそんな台北での生活の中で、料理人になるという夢を叶えました。

「台北はやりたいたいことが何でもできる場所です。台湾の消費者たちは非常にオープンで、好奇心も旺盛なので新しいものにも反応を示しますし、好意的に受け取ってくれます」。プラシャンタさんは自身が情熱を持っている料理と健康に焦点を当てて、ヴィーガンレストランをオープンしました。ヴィーガンダイエツトは肉体の健康だけでなく、精神的にも健康になれるのでメリットが大きいので

す。彼女はこうして台北でシエフ兼経営者として人生を歩き始めました。「台湾の市場は新しいものに敏感なので、食べ物や飲み物など様々な選択肢があります」。プラシャンタさんは現在、台北でケータリング業務のお店、ワークシヨップ講師、ヴィーガンシヨップ「Vegan Yumz」の運営者として知名度を高めています。「オーガニックな食材を使用すると、

お手頃なメニューであれ、豪華な料理であれ身体が癒されます。そして、最終的には精神的な安らぎに繋がります」。プラシャンタさん台北で気に入っているスポットの一つに福州山公園があります。自宅から徒歩圏内にハイキングコースがあり、人込みを避けて台北101や街の景色を楽しめます。他にも内湖にある白石画廊の館内は、今まで見た中で最も美しいスポットだそうです。



08



09

08. 六張犁にある福州山公園は台北の町並みが一望できるので、現地に住む外国人にとっての心のオアシスになっています。(写真/Yenping)

09. プラシャンタさんは、台北でオーガニック素材を使った健康的でおいしいヴィーガン料理を長期間に渡って広めてきました。(写真/Craig Ferguson)



10

トレバー・トルトマーシさん
**Trevor
 Tortomasi**
 アメリカ

カリフォルニア出身のトルトマーシさんはインターナショナル・コミュニティ・ラジオ台北のパソナリティーを務めています。アメリカ人の両親が台北で結婚し、母親が台北で講師の仕事始めたことをきっかけに移住しました。トルトマーシさんは、子供の頃に母親が教えてくれたいくつかの中国語を覚えていました。そこから興味を持って高校時代から中国語を学び、国立台湾大学に留学。10年間台北に住んでいるため、台北は故郷なのだと話します。

現在はラジオ局で、自分の仕事に打ち込んでい

ます。「私はニュース記事を編集し、その一部を生放送で読み上げます。ただ、私の仕事の大半はポッドキャストの運営です」。編集作業や台湾各地で放送される音声コンテンツとビジュアルコンテンツの品質の統合が主業務で、リスナーへ楽しみを届ける仕事に誇りを感じているそうです。

スタジオでの仕事はもちろん、それ以外に台北の川沿いにある公園も大好きだそうです。「以前は、リバーサイドから徒歩10分ほどの所にある古亭に住んでいました。その当時はロケーションを活かして自転車や一輪車に乗ったり、ランニング

をしました。他にも友達と遊んで過ごしたりとたくさん思い出があります。リバーサイドを通じて海へ向かう時や、その帰りにこの道を通るのが好きです。駆け抜ける感じが、とても気持ちいいですよ」。古亭は都会と自然がうまく共存している場所で、大都会の生活と、そこから抜け出した衝動をうまく満たしてくれます。現在はコロナウィルスの影響で外出ができませんが、トルトマーシさんにとってリラック스가できて、雄大な自然に触れられることが、台北を愛する理由の1つです。



11

10. 古亭の近くにある公館のリバーサイドは、トルトマーシさんのようなサイクリストを魅了するスポットです。

11. トルトマーシさんがDJを務めるラジオ番組のリスナーは、大半が台湾在住の外国人です。(写真/ICRT)



12



13

李眉君さん

Priya Lee Lalwani

インド

李眉君さんの経歴を聞かずには彼女の中国語を聞くと、台湾人だと誤解してしまいます。李さんはインドで生まれ、ドイツとナイジェリアで育ちました。その後、1987年に父親が台北の大同大学で教鞭をとることになり台湾へ移住。台湾の大学を卒業して、多くの思い出を作りました。「私は非常に長く台北に住んでいます。なので、長年に渡るこの街の変化を実際に見てきました。例えば、以前はMRT（地下

鉄）がありませんでしたし、バスでは紙の乗車券が使われていました」。現在、李さんは翻訳とコンサルティングビジネスに従事しています。彼女は、台北市長の通訳や印度文化節のMCなど、台北で様々な素晴らしい仕事を経験してきました。「台湾とインドには共通点がたくさんあります。そのため、私は台湾で積極的にインドのプロモーションを行ってきました」。人生の半分以上を台湾

▲ TAIPEI からのお知らせ：

新型コロナウイルス特別警戒期間中は特に感染予防に注意をしてください。
不要不急の外出は控え、外出する際は必ずマスクを着用し、各地の規則に従ってください。

で過ごしてきた李さんにとって、この街は故郷だといえます。「台北のあらゆるものが大好きです。人が優しくて、利便性も高く、今は交通機関も非常に発達しています。何でも揃っているのも、外国人が住むにはとても素晴らしい場所です」。李さんを始め、多くの外国人居住者は、公共交通機関や豊富なコンビニ、入国時に英語が通じるなど、台北の利便性を高く評価しています。

12.-13. 80年代に台北大同大学に通っていた李さんは、たまに母校へ戻っては付近を散歩しています。(写真/Yenyi Lin)

14. 親子で一緒に見学ができる台北市立美術館は、李さんにとってもお子さんとの大切な思い出のある場所です。

ます。「小学5年生の時、娘が中山とその周辺地域の観光・旅行のしおりを制作しました。また、私たちが一緒に探索した台北市立美術館についても紹介をしています。親子で台北故事館や台北市孔子廟を観光したことはとても印象に残っています」。

台北は家族で暮らすにも最適な場所です。安全であり、清潔で、子供たちが学んだり探検ができる博物館や名所がたくさんあります。◆





写真 / Kris Kang



台北には落ち着いた雰囲気と快適な空間を提供するカフェや茶館がたくさんあり、多くの観光客や外国人をリラックスさせます。



01

台北の住居について知ろう

外国人に人気の3つのエリア

文：Rick Charette 編集：下山敬之 写真：Yenyi Lin・Taiwan Scene・劉佳雯

時代の変遷と街並みの変化はどのような関わりがあるのでしょうか。40年前、台北は「アジアのみにくいアヒルの子」と呼ばれ蔑まれてきました。そこから、国民の健康の保証や地元に対する誇りを持つよう意識改革を行い、一致団結して努力をしてきた結果、「世界で最も住みやすい都市指数」にランクインするまでに成長を果たしました。この指標はエコノミスト・インテリジェンス・ユニット（EIU）が毎年発表しているもので、ここに選ばれることこそ台北の試みが成功した証と言えるでしょう。

中には母なる地球の片隅にある台北という街に、馴染みがない方もいるかもしれません。そういった方のために簡単に紹介をすると、台北には、安全上の理由から海外からの駐在員が密集するような地域はありません。台北は外国人にやさしい都市なので、至る所に外国人が住んでいますし、世界的にも安全な大都市の一つとなっています。そのため、男性でも女性でも、安心して深夜の散歩ができます。

ただ、住宅を選ぶ際には人気の偏りがあります。外国人が特に魅力的であると感じるエリアがいくつか存在し、そこに集中している傾向があります。ここでは、文化的特徴と利便性という2つの観点からそれらのエリアが人気な理由を紹介していきます。



02

大直と MRT 中山駅 林森北路エリア

中山区 Zhongshan District

大直エリアは基隆河の北側に位置し、台北松山空港と大佳河濱公園の真向かい側にあります。このエリアには軍事施設が多数存在するため、長期間に渡り住宅開発が制限されてきました。ただ、無闇な開発が行われなかったことで、郊外エリアには過去20年の間に洗練された住宅用高層ビル、大規模なショッピングモール、高級ホテルが建てられました。MRT文湖線の地上走行区間を抜けたあと、台北松山空港から地下道を経由して大直の中心部へと向かいます。エンターテイメントやショッピング関連のお店

が多いことも、外国人居住者に支持されている理由の1つです。大直は信義区以外のエリアと比べて、歩道の面積が広くなっています。新興エリアでは、各道路に広い歩道があり、建物は道路から少し離れた位置に建てられているので、快適さと空気通過性に優れています。新興エリアで最も人気のあるアミューズメントスポットは、美麗華百樂園です。ここお店が入ったデパートで、買い物や娯楽が楽しめます。ただ、従来の便利な百貨店という位置づけではなく、「一日中賑やかに過ごせるスポット」として建造された、エンターテインメント要素を含む複合施設です。さらに、お隣にある内湖エリアまで足を延ばすと、コストコやカルフルなどの大型ショッピングモールがあるので、ヨーロッパの食材を買い揃えることも可能。

台北に住む多くの外国人が、母国の料理を作る際に訪れる便利な場所となっています。

大直の西側には、台北の2大人気ランドマークとして、忠烈祠と圓山大飯店があります。ただ、長期滞在者にとってはホテルの裏手にある遊歩道のほうが魅力的かもしれません。ここを登ると山の上から大直を見下ろすことができます。この他にも大直の南側にある基隆河は、川沿いの公園やサイクリングロードがあるので、運動をしながら快適な週末が過ごせます。

01. 大直橋は台北の中心に直結しているので、大直に住む人たちはすぐに市内へアクセスできます。(写真/Yenyi Lin)

02. 大直は静かな環境が整った住宅街です。



日本人駐在員の場合は、その多くが MRT 中山駅周辺の繁華街やその近くにある林森北路エリアに居住しています。その理由は、「ジャパンタウン」や「リトル東京」とも呼ばれる、條通商圏があるから。南京東路の南北に位置する、中山北路と林森北路の小道や路地に囲まれたこのエリアには、居酒屋、カラオケバー、ラーメン店、その他日本らしさが感じられる建物が並んでいます。日本統治時代の間は、日本人駐在員向けの高級住宅地でしたが、戦後数10年で日本グルメと娯楽があふれる日本人向けのエリアへと変貌を遂げました。



04

と融合。この中心にある心中山線形公園では、周囲の古いアパートなどの壁に、アーティストの小さなペイントが施され、

週末にはクリエイティブをテーマとしたフリーマーケットが開催されています。

03. 心中山線形公園はのんびりとした心地よい雰囲気をもたらしてくれます。

04. 中山駅の近くにある小さな通りには数多くのカフェやセレクトショップが並んでいます。

05. 古い建物の多くを部分的にリノベーションした赤峰街では、台北でも数少ない新旧が入り交じた独特な風景を目にすることができます。

▲ TAIPEI からのお知らせ：

新型コロナウイルス特別警戒期間中は特に感染予防に注意をしてください。
不要不急の外出は控え、外出する際は必ずマスクを着用し、各地の規則に従ってください。



05



06

天母エリア

士林区 Shilin District

天母は市内の北部に位置し、陽明山のふもとにあります。この地区は、アメリカンスクールや日本人学校、ヨーロッパアンスクールがあるため、中高生の子供がいる駐在員に人気。台北で最も外国人居住者の人口密度が高いエリアでしょう。外交地区とも呼ばれるこの場所には、各国の大使館や駐在員事務所、多くの外交官の住居があり、他の場所よりも多くの人種や民族を目にする場所です。

1950年代半ばから1979年まで、天母はア

メリカ軍の中・下級兵士とその家族の居住地区でした。また、アメリカ合衆国国際開発庁(USAD)の職員やその他の外国人の市民向け住宅施設も建設されました。Googleの衛星写真を見ると、西洋風の道路のレイアウトが見えてきます。当時の洋館はほとんど残っておらず、代わりに高層マンションが建てられました。アメリカンスクールも日本人学校も、旧アメリカ軍の敷地内にあります。

公共交通機関の利便性も、天母の住みやすさの理由の一つです。天母西側には台北 MRT 淡水信義線が走っていて、各駅や市内中心部へのバスも運行されています。また、プレイスポットとしては、陽明山国立公園があるので、自然愛好家にとっては最高のスポットです。





中山北路七段の北端すぐそばから始まる緑豊かな

天母古道親山歩道は、野生のタイワンザルが多数生息していて、容易に自然に触れることができず。広々とした天母運動公園には、テニスコートやバスケットボールコート、子供用遊び場、ジョギングコース、インラインスケート場、野外シアター、多目的芝生広場など高機能かつしっかり整備された公共施設が用意されています。天母に住む駐在員がスポーツや屋外の社交イベントを簡単に楽しめるよう考えられています。

また、カルフル、そごう、新光三越、大葉高島屋などの大型スーパーやデパートが数多く並び、他のエリアよりも豊富な輸入品を取り扱っているのも人気の理由です。飲食店も洋食、日本料理、各国の料理を幅広く取り扱っている他、お店のス

タッフも英語を話せる人が比較的多くいます。

天母は、台北で社交的に生活したい新規居住者にとって、最適な場所と言えるでしょう。その理由は新しい友達と知り合え、さらにおいしい料理を楽しむる2大定番スポットがあるからです。1つは温徳徳式烘焙餐館、もう1つは Dreamers Coffee Roasters というお店。温徳徳式烘焙餐館は、最高のドイツ料理を提供する名店です。同店は屋外ビアガーデンも魅力的で、非常に人気があります。 Dreamers Coffee Roasters では、最高品質のドリップコーヒーやコールドブリュアーコーヒー、人気のコーヒーカーテルを提供。また、屋外にも快適なスペースが用意されていますので、新型コロナウイルスが収束したらぜひお試しください。

天母のコアともいえる

イベントが、毎週金曜日から日曜日にかけて中山北路と天母東路の交差点で開催される屋外フリーマーケット「天母生活市集」です。約200店の露天が並び、手作りの創作グッズや中古品などが販売されます。また、この他にも大道芸人やインディーズ・ミュージシャンなどによる楽しいライブイベントが多数開催されています。現在は新型コロナウイルスの特別警戒期間のため一時的に中止となっています。

06. 天母の旧道はかつて陽明山の湧き水を汲み上げていた道で、現在でも長大な水管が遺されています。(写真/Yenyi Lin)

07. 大きなトラックのある天母運動公園は、スポーツをしたい地元の人たちにとって最高のスポットです。(写真/Yenyi Lin)



07



08

康青龍エリア

大安区 Daan District

国立台湾師範大学と台湾大学の近くに位置する康青龍エリアは、アーティストック、そしてノスタルジックな雰囲気があることで有名。この地域の名称は、南北を貫く永康街、青田街、龍泉街という3つの主要な通りの名称から付けられています。

日本統治時代、このエリアは日本政府の役人や上級公務員、学者などの居住区として発展。当時は日本式の木造住宅群が建設されました。今でも街を歩くと、それらの建築物を目にすることができ、現在は多くの飲食店やその他新興企業がリノ

ベーションをして使用しています。青田街付近にある青田七六は、1931年に日本の学者が建てたレストランです。メニューは西洋のスタイルを取り入れた伝統的な日本食を提供しています。

上記以外にも、エリアを南北に分割する和平東路を越えると、落ち着いた雰囲気を醸し出す町並みが姿を表します。この静けさや個性的なデザイン、ブティック、国内外各料理の飲食店などがあるため、若い世代の駐在員に人気です。台湾の路地裏文化は地元では国宝とみなされているので、台北の精神を理解するには、こうした通りを歩いて見るのが一番です。

また、交通機関の利便性や公園へのアクセスの良さもこの地域の魅力。北端にはMRTの淡水信義線、南端には松山新店線が走っています。緑あふれる広大な大安森林公

園は、レクリエーション施設が充実しているので、子供連れでも十分に楽しめます。他にも台湾大学のキャンパスがあり、雄大な木々や日本統治時代の建築物など、美しい景観が広がっています。南の方へ足を延ばすと新店溪と呼ばれる川があり、ここから川辺にある公園やサイクリングロードにアクセスできます。

この20年の間、永康街と周辺の路地は、観光スポットとして注目を集めています。この通りには、個人経営のクリエイティブなお店が多数存在します。特に、デザイナーズブティックや飲食店が多く、海外からの観光客が多く訪れています。台湾屋台のB級グルメや、日本、韓国、その他各国の料理店、そして路地裏には隠れたカフェや茶屋まであるので、どんな人でも楽しめる最高のスポットです。永康を象徴する

ブランドのひとつに、世界的に有名なレストラン「鼎泰豊」の本店があります。ここは世界各地のツアーで必ずコースに含まれるほど人気の高いお店です。

康青龍エリアには、所得に応じたカテゴリーがあります。キャリアの長いベテランが多く住んでいます。中等教育機関が集中しているため、学生も少なくありません。そのため、鼎泰豊のような高級スポットから、龍泉通りを中心とした「師大龍泉商圈」には、特に学生グループをターゲットとした屋台が集まっています。また、このエリアには、1974年にオープンした台湾最古のジャズクラブであるBlue Note Taipeiがあります。コンパクトなエリアですが、様々なジャンルのお店があるので、外国人移住者たちから高い評価を獲得しています。◆



09

08. 青田街の周辺は大きな木々に囲まれた閑静な場所です。そのため多くの方が康青龍エリアを最高の住宅街と考えています。

09. 様々なお店が立ち並ぶ永康街と永康公園の周辺は、便利な交通機関と生活機能が整っています。(写真/劉佳雯)

① コミュニティーサービスセンター(台北)

天母にあるコミュニティで、外国人の定住を支援するという使命を担っています。外国人居住者によって運営されていて、台北に住みたいという方がまっさきに訪ねるべき場所です。詳細情報はこちらをチェック (communitycenter.org.tw)

台北のリトル・フィリピン 「中山区」を歩く

文・Catherine Shih 編集・千止敬之 写真・Yenyi Lin・Taiwan Scene・Wow!Lisson Manok



01

「台北のマニラ」 へようこそ

中山北路三段と徳恵街の交差点の方角へ向かって歩くと、徐々に霽困気がフィリピンの街中のように変化していきます。聖多福天主堂、金萬萬名店城、双城公園、EEC エリート・エクस्पレスのスポットに四方を囲まれた小さな区画とその周辺エリアは、台北の「リトル・フィリピン」と呼ばれる場所です。台北に住むフィリピン人たちは「中山区」と呼ばれています。ここには勤勉な移民労働者が集まっていて、フィリピンの主要言語であるタガログ語が

盛んに聞こえてきます。

7年ほど台湾で生活しているフィリピン・ミンダナオ出身のギルダ・バナガン (Gilda Banagan) さんも移民労働者の一人。毎週日曜日になるとリトル・フィリピンを訪れるという彼女は、「毎週ここに集まって友達と会い、社会のことについて色々話しています」と語ります。しかし、なぜこのエリアが「リトル・フィリピン」と名付けられるようになったのでしょうか？今回はこのエリアのランドマークや成り立ちを紹介していきます。

01. 台北のリトル・フィリピンは東南アジアの商品を扱うお店が多く、エキゾチックな霽困気が漂うエリアです。

02. 聖クリストファー教会は東南アジアからの移民労働者に対して様々なサービスを提供しています。(写真/Taiwan Scene)

聖クリストファー教会

1957年にアメリカ人建築家によって建てられたこの教会は、リトル・フィリピンの象徴的存在です。もともとは周辺に居住していたアメリカ軍事顧問のカトリック・コミュニティとして建てられた教会でした。ただ、英語でのミサがあったことから、他の地域に居住していたアメリカ人も数多く集まりました。それからベトナム戦争が終結し、台湾と米国の国交状態が変化すると、アメリカ人コミュニティは年々縮小していきます。そして、1990年代に移民法施行により、台北では東南アジアの労働者受け入れを開始。それによって、この教会はフィリピン人のクリスチャン・コミュニティの中心地へと変わっていきま

た。
現在ではタガログ語、英語、そしてベトナム語

で礼拝が行われています。また、ギルダさんによると「現在はパンデミックのため、教会では無料マスクの配布や衛生に関する講義、カウンセリングも行っています。みんな故郷に帰れなくて、辛い思いをしているので助かっています」。パンデミックに伴う海外旅行制限により、多くの移民労働者は、経済的理由もあって、契約期間の残りを台湾で過ごさざるを得ない状況となっています。「故郷で新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっているのです、私たちも気がありません。かといって、故郷に帰って家族に会うこともできない。そんな中で、この聖クリストファー教会は私たちにとって、大切な支えとなって、大切な支えとなってきています」と、東南アジアの移民労働者が、ここに集まる理由を語ってくれました。



金萬萬名店城

聖クリストファー教会から目と鼻の先にある金萬萬名店城。中には、携帯ショップ、屋台、ヘアサロン、洋服店、電化製品の修理店がずらりと並んでいます。1階と2階の間にある壁には、各お店の名前が貼られたボードが来客を出迎えます。

を話しながら次々にお店へ入っていきます。「スマートフォンやアプリがなかった頃は、フィリピンへ物を送るときに必ずここに来ていました。最近は何んでもオンラインでできるようになったので、本当に便利になりました」。ギルダさんに何の目的でここにくるのかを尋ねると、「髪を切る時か、フィリピンの味が

恋しくなった時にここに来ますね」と答えてくれました。取材の際、ギルダさんは私たちを小さな屋台へ連れて行ってくれました。この屋台では、揚げバナナや魚の燻製、ライス、ウベの月餅からハロハロ（フィリピン式かき氷）までフィリピンの食べ物が揃っています。また、周りのショップの友人に

対して、ギルダさんは「Kuya」（タガログ語で「兄」という意味）と呼びかけるなど、友好的な関係性が垣間見えました。また、どのお店もリーズナブルな価格で、一生懸命稼いだお金を有効に活用できる場所になっているようです。



04



05

04.-05. 日曜日の金萬萬名店城では、フィリピンの名産が数多く販売されています。

周辺エリアー スーパーマーケット、レストラン、公園



聖クリストファー教会と金萬萬に隣接するのが、有名なフィリピン・スーパーマーケットEECエリートエクスプレス(EEC Express)です。店内にはフィリピンのスナック、インスタント麺、化粧品などの商品が所狭しと並んでいます。できるだけ節約できるよう、製品の大半はコストコのようにまとめ買いサイズで販売されています。レジの横のカウンターでは、荷物や小包の配送やその他の手続きなども可能です。

EECからすぐの場所には、フィリピンレストラン Wow Litson Manok(葛瑞絲香草烤雞)もあります。「フィリピン料理は塩と酸味が効いたものが多いです。それにバーベキューや揚げ物も人気ですね。ここだと一番人気はグリルチキンですよ」。イートインの際にお得なのが、食事を頼むとライスのお代わりが自由になること。懸命に働く移住労働者の人々には嬉しいサービスでしょう。

取材の最後にギルダさんが連れて行ってくれたのは、地域の人々に人気のスポット、双城公園でした。「友達と外でおしゃべりしたり、ただのんびりしたりするのに最適な場所ですよ」。台湾に住む東南アジアの移住労働者の多くは、安全の確保のために、オープンスペースで使用料のかららない公園を集会所として利用しているそうです。

「ここに食べ物を持ってきて、芝生の上やベンチでピクニックをしたりします。ここは太陽が気持ちいいですからね!」

「私たちは、家族や友人の多くをフィリピンに残してきていますが、この台北の片隅の小さなエリアでは、そんな故郷と



の繋がりを感ずることが出来ます。本当に第二の故郷のような場所です」とギルダさんは微笑みまです。多様性と受容性の高い台湾は、世界中の人々が「故郷」と呼べる街になるべく成長を続けています。◆

07

06. Wow Litson Manokで提供しているグリルチキンは、フィリピンを思い出させる故郷の味です。(写真/Wow Litson Manok)

07. 開放的で緑があふれる双城公園は、リトル・フィリピンへ買い物に来た人たちにやすらぎを与える休憩スポットです。

台北に住むムスリムたちの架け橋

文：林佳蕙 編集：下山敬之 写真：陳志誠、杜梓皇宮、Yenji Lin



01

近年、台湾では東南アジアからの移住労働者が増えています。それに伴って、台湾ではムスリムのコミュニティによる新たな文化的風景が形成されています。最初は馴染みのない状態でも、徐々に異国の文化に対する好奇心が芽生え、次第にイスラム文化の生活様式も理解されていきます。台北に住む譚雲福さんは、「台湾は多様化している寛容です。この地に滞するムスリムの仲間にとっても、快適であるだけでなく、自身の文化的な教養も豊かにしてくれる場所です」と述べています。

譚雲福（タンユンフー）さんは、幼い頃からイン

ドネシアで育った華僑で、インドネシアの移住労働者の境遇について熟知しています。しかし、台北に来た当初はムスリムのグループに対して共感をしていませんでした。インドネシア人と華人という2種類の血統を持つ彼ら一家は、インドネシアの排華運動で被害に遭いました。こうした事件は歴史や政治的要因によるものですが、そうしたワダカマリがあったためです。その後、譚さんは台北市労働局の外国人労働者の相談員として雇われ、悩みを抱えた人たちに協力する過程で、次第にワダカマリが解けていきました。

「当時の業務はインド

01. 台北清真寺は台湾初のイスラム教の礼拝堂で、ムスリムの人たちが信仰のために訪れる場所です。(写真/Yenyi Lin)

02. 台北に住むイスラム教徒の多くは移民や移民労働者です。彼らにとって、信仰や習慣を維持することが非常に重要です。



02



譚雲福

インドネシア語ニュースキャスター。台湾国際放送のインドネシア語番組の司会者。1994年に勉強のために渡台。かつては台北市労働局の外国人労働者の相談員を務め、移住労働者コミュニティの中で活躍。台北とムスリムの移住労働者間の重要な架け橋となっている。

ネシアの人たちを守ることで、彼らにとって私は異国での拠り所でした。そのため、先入観を捨て、思いやりを持って接することを決意しました。在職期間中は労働紛争の調停に協力したり、移住労働者が雇用主から不当、あるいは暴力的な扱いを受けないよう守って来ました。中でも頻繁に対応していたのが、宗教文化の違いによって生じる問題です。例えば、移住労働者が自宅で白いターバンを巻いて礼拝の儀式を行うことを受け入れられない雇用主がいたり、ムスリムに豚肉を食べることを強要する人もいます。譚さんは、現地の人々がイスラム教の規範に理解を示してくれることを期待し、こう述べています。「儀式の時間は、神様とのコミュニケーションの時間です。それぞれの宗教信仰によってやり方が違うだけです。媽祖

の巡行やクリスマスなどの美しさを認められるならば、イスラム教の儀式の歴史や背景を理解することもできるはずです」。

今日では、ムスリムの生活様式について多少の認識を持っている人も増えました。公共の場所でも礼拝室が設置されたり、ハラル認証の飲食・旅行エリアも増えています。譚さん曰く、台北市政府が行った大々的な周知啓発は無視できない功績とのこと。「異なる民族、宗教のコミュニティが他のコミュニティの考え方を考えることは決して簡単ではありません。20年という時間で変化した台湾は、とても早いと言えます」。譚さんはみんなが友好的に触れ合い、異国の文化をもっと認識する。そして、双方の違いを理解し、受け入れることを推奨しています。



★ 私たちもムスリム

多くのムスリムが移住したことで、台湾の文化にも異なる一面が見られるようになりました。ここでは譚さんが案内してくれたムスリムに関連する場所とその文化を紹介していきます。私たちがその文化を積極的に理解しようとすれば、わだかまりはすぐなくなります。ムスリムも現地の人と同じように、台北という土地で懸命に生活する仲間であると気づけるのではないのでしょうか。



03

ムスリムの心の拠り所 台北清真寺

1960年に落成した「台北清真寺」は、台北に住むムスリムにとって重要な場であるだけでなく、モスク建築の特色も学べるスポットです。イスラム建築でよく見られるドーム設計だけでなく、台湾の様式と融合したタイル、ローマ式を模した廊下などを組み合わせた特徴的設計となっています。建物をじっくり鑑賞するだけでも十分な価値があるでしょう。

ハラール認証のグルメ天国

CLC 東南亜食品百貨

台北地下街 Y4 出口にある「CLC 東南亜食品百貨」では、化粧品、ボディソープ、調味料、お菓子や加工食品などあらゆる商品を販売しています。ムスリムの人にとって、故郷で使い慣れたブランドの商品があるだけでなく、最も重要なハラール認証の食品が購入できることが人気の理由です。

「ムスリムの人たちが自国のソースを使う理由は、味が違うだけでなく、食品を作る鍋、お碗、お玉、皿、キッチンから製作過程まで、すべてがハラール認証をクリアしたものでなければいけないからです。一度でも非ハラールの肉に触れた器具は、食品の調理に使用できません。また、動物を屠殺する前にコーランを読む必要もあります。」非ムスリムの方も、CLC で販売されている東南アジアの食材や惣菜を通じて、異なる民族の文化を知り、異国の風情を感じることができます。



04

03. 台北清真寺は高さ 15 メートルのドーム型をしていて、院内は厳粛な雰囲気にも包まれています。(写真/Yenyi Lin)

04. CLC 東南亜食品百貨では、さまざまなハラール食品を購入できます。

ムスリムのファッション

Butik Ria Taipei

ムスリムのファッションも信仰の規範がある文化的な特色の一つと言えます。譚さんは、「色欲の象徴とされる毛髪を覆うため、ムスリムの女性の大半はヒジャーブ（スカーフ）を巻かなければいけません。ヒジャーブは時期や地域によっても違いがあります。また、ムスリムの女性は、礼拝の儀式的時に純白の服を着なければいけません、別のシーンでは柄や色がついたファッションをするなど、非常にオシャレです。生地も無地やカラフルなものなど風情がありますし、時期によって流行のデザインも異なります」とムスリムの服装について教えてくださいました。「Salon Ria」というヘアサロンが兼業するムスリムのファッションブティック「Butik Ria Taipei」では、様々な種類のデザインが展示されているので、ムスリムのファッションの美しさを知ることができます。



05



06

草花や幾何学で生活を彩る

杜拜皇宮 Dubai Palace

イスラム教は偶像崇拝を禁じているため、生活の中の調度品の多くは花や植物、抽象的な幾何学模様で装飾します。「杜拜皇宮 Dubai Palace」ではトルコ、ドバイ、アラブ首長国連邦からの輸入品を多く取り扱っていて、美しい模様が装飾されたテーブルマット、ティーセット、香炉、絨毯などがあります。波紋、半円など様々な模様やカラフルな色を取り入れたデザインが特徴です。気になった商品があれば実際に購入して、ムスリム文化の持つ美しい工芸品で住まいを彩ってみましょう。◆

05. ムスリムの女性のファッションにもトレンドがあり、豊富な選択肢があります。

06. 特徴的なムスリム文化の模様は、生活空間に異国の雰囲気を与えてくれます。(写真/ 杜拜皇宮)

全世界が熱狂！？ 風を切り、波に乗る台北の ドラゴンボートチーム「黒潮龍舟隊」

文：Rick Charette 編集：下山敬之 写真：Samil Kuo、台北市体育局、黒潮龍舟隊



01

端午節は、春節、中秋節と合わせて、中華文化における三大節句の一つです。今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期となってしまいましたが、ドラゴンボートというスポーツを通して、この伝統的な節句について学んだり、友達を作ったり、100年以上続く伝統的な風習を知ることができます。

台北には数多くのドラゴンボートのチームが存在していますが、今回紹介する黒潮龍舟隊は、台湾人と台湾に住んでいる外国人で結成された特別な混成チームです。現在は50名のメンバーのうち半数がアメリカ、フランス、ロシアなど欧米圏の出身者です。創設メンバーは元々一人で大会にエントリーして、ドラゴンボートの楽しさに目覚めました。そして、スポーツ愛好者たちが一年中ボートを楽しめるようにと、黒潮龍舟隊を結成。今回は、創立者の1人であるフランス出身のGael Lim(ガエル・リム)さんがインタビューに応じてくれました。

ドラゴンボート フェスティバル の起源

2000年の歴史を誇るドラゴンボートレースは、協調の精神を養い、相互成長できるスポーツと評価されてきました。近年ではさらに進んで、真剣勝負の世界へと変貌しています。ドラゴンボートのルーツは、洪水やその他の自然災害を防ぐために、水神である龍を崇拜した儀式と考えられています。他にも諸説あり、特殊なものでは病気や悪い事象を流すという意味で、神像をボートで海に流したことから発展したと言われています。

メジャーなものだと、中国の戦国時代の楚国の忠臣であった屈原（くつげん）の物語があります。国の行く末を憂いた屈原は入水自殺を図りますが、市民から慕われていたために、民衆が足の早

い船で先を争って救出に向かいました。その際に海に潜む龍を追い払うために太鼓や銅鑼を鳴らし、屈原が食べられないように、米を入れた筒を川に投げ入れたと言われています。

時が経つにつれ、米を入れた筒がピラミッド形になり、もち米を使用した粽（ちまき）に姿を変え、利他的な奉仕の精神を持つ屈原を追悼する儀礼から、現在のドラゴンボートレースへと発展しました。

今年のように感染症による影響がない場合は、毎年台北市政府が「台北国際ドラゴンボートレース大会」を開催しています。この大会は規模も人気も最大級です。レース以外にも龍の目入れの儀式、水神に安全を祈願する祭礼、ドラゴンボート体験キャンプ、ボートトレーニングなどのプログラムが開催されます。



02

01. 100年以上に渡り受け継がれてきた伝統的なドラゴンボートは、現在でも人気のあるスポーツであり、レースイベントでもあります。(写真 / 黒潮龍舟隊)

02. ボートの龍に目を入れるプログラムは、毎レースごとの象徴的な儀式であるとともに、参加者の安全の祈願する意味が込められています。(資料写真 / 台北市体育局)



04



03

ドラゴンボート レース大会の舞 台裏

リムさん曰く、ドラゴンボートはカヤックやカヌーとはまったく別物だそうです。「大きな違いはボートより定員が多いことです。漕ぎ手の人数は、レースのルールやボートのサイズによっても異なりますが、16人や18人が一般的です。レースの距離は500mで、トップチームのタイムは約2分ほど。ゴール地点にあるフラッグを手にしたチームの勝利となります」。

ドラゴンボートの素晴らしい所は、チームメンバーがそれぞれ重要な役割を担うことだとリムさんは言います。一部のメンバーが強いだけでは勝てず、それぞれが自分の役割を果たさなければいけません。「たとえば、舵取りはボートが効率的

に前進するように操舵します。太鼓手は適切なペースで音を鳴らし、漕ぐリズムを一定に保ちます。先頭に立つ2名の漕ぎ手（リード）も、ペースを保つために太鼓手と呼吸を合わせなければいけません」。ゴール前でフラ

ッグを取る役割は、特にプレッシャーが大きいとリムさんは話します。「フラッグを取り損ねたり、ボートから落ちる、フラッグを取らずにフィニッシュラインを越えると失格になる可能性があります」。



05

03.-04. ドラゴンボートレースは最後のフラッグを手にするために、ゴール寸前で速度を一定に保つ必要があります。(写真 / 黒潮龍舟隊)

05. 黒潮龍舟隊は台湾の主要なレースでたびたび優勝をしているチームです。(写真 / 黒潮龍舟隊)

06. ドラゴンボートはメンバー全員がバランスや速度を保つための重要な役割を担います。(写真 / Samil Kuo)



トレーニングの 楽しさ 潮の満 ち引き

リムさんは2015年に、3人の友人と黒潮龍舟隊を結成。それ以前は、語学センターに通う留学生のチームに所属していました。「語学センターのボート活動は年に1回だけでしたが、友人と一緒にパドリングをしていくうちに、一年中このスポーツを楽しみたいと思い始めました。私たちは多彩なメンバーによる混成チームであり、学生も社会人も参加しています。プロのアスリートはいません。私たちは楽しみながら、トレーニングやアウトドア活動をしています」。

リムさんはチームの加入についてこう話します。「入団テストは通常、年2回行います。希望者は体力テストに合格し、フィットネスとパドリング

のトレーニングに参加します。これで希望者もチームのことが分かり、向き不向きを判断できます。私たちは、身体的に健康で、強いチームワークの精神を持っている人を募集しています」。

さらにリムさんは続け

ます。「プロの場合は、専門的なトレーニングをしますが、一般のチームはただ楽しむことを目的として参加しています。私たちは週3回トレーニングを行います。1日は平日の夜に体力増強メニューを行い、適切なパド



07. 黒潮龍舟隊には、世界各国のドラゴンボート愛好家たちが集結しています。(写真/Samil Kuo)

08. 全身の筋肉を使うドラゴンボートは、ウォーミングアップとクールダウンが非常に重要です。(写真/Samil Kuo)

09. 黒潮龍舟隊のメンバーは、数々のトレーニングとレースでの経験を通して、強い絆と結束力を築き上げてきました。(写真/Samil Kuo)

リングに必要な筋肉を強化します。残りの2日は、平日の夜と日曜日の早朝で、パドリング技術の向上と長距離パドリングに必要な体力の向上、シンク口方法の習得です」。

トレーニングで最も難しい要素を尋ねると、「パドリング技術、つまりストロークを学ぶのは容易ではありません。最も難しいのは16人または18人のメンバーが、『完全に同じタイミング』で漕ぐことです。パドルが水に入ってから出るタイミングが、同時である必要があります。これは強いチームになるための鍵であり、多く時間を必要とする部分です」と答えてくれました。

練習や早朝トレーニングによる睡眠不足、友人や家族との時間を犠牲にしたこと全てが忘れられない思い出です。そして、それは強い友情が生まれた瞬間に報われるとリム

さんは言います。「0.1秒差でレースに勝ったことが最高の思い出です。他のチームと限界を超えて競い合いましたが、フィニッシュラインを超えた時点ではまだ勝敗が分かりませんでした。チームのために全てを捧げた感覚と、その瞬間に生まれた特別な感情は説明ができません。また、それが私たちの間に非常に特別な絆を生み出しました」。

① 黒潮龍舟隊の入団窓口

ドラゴンボートに興味のある方は、黒潮龍舟隊までご連絡ください。

blacktide2016@gmail.com (Lisa)

<https://zh-cn.facebook.com/blacktidedragonboat/>



08



09

古き良き台北人に続いて 大龍峒を掘り下げる

文：Yining Chen 編集：下山敬之 写真：Yenyi Lin・Taiwan Scene

淡水河と基隆河の境界地点に位置する大龍峒（ダーロントン）は、古くは北部の平埔族・バサイ族の集落でした。オランダ統治時代の文献に記録があり、当時は「Pourompon」と呼ばれていました。大龍峒の台湾語の発音である「大浪泵（ドァーロンゴン）」にも数百年前のイントネーションの名残があります。

清代初期、泉州同安区の漢人が大量に移住してきました。そして、次第に「同安が栄える」という意味で、「大隆同（ダーロントン）」と呼ばれるようになっていきます。その後、この地では科挙の郷試に合格する人が多く、郷里の人々が同地を傑出した人物を排出する龍穴であると考え、龍の住む祠という意味で現在の「大龍峒」へと変化しました。



01



「同安の加護」信仰が現地の文化を継承

艋舺、大稻埕といった淡水河畔の集落同様に、大龍峒もまた台北で早期に発展した地域の一つです。清朝時代、この地に移住した泉州の同安人が保生大帝の信仰をもたらすと、清乾隆年間には保安宮を建立して「同安の加護」を祈願。保生大帝は人々が信仰する医薬の神として、200年以上を経た今も参拝客が絶えず訪れます。このように、保安宮は台北の宗教信仰を支える重要な場所です。大龍峒の歴史や文化と共に発展した保安宮のそばにある四十四坎旧跡は、かつて台北で最も早期に計画された道路でした。現地の商人一家が保安宮を建立した後、残った建材を活用して二列の木造瓦葺きの商店街を設立。どの店舗も大きさ、長さ、

幅が同じ。このような建築様式は「坎」と呼ばれ、また、この道路の左右にはそれぞれ22軒の店舗があったことから、四十四坎街と名づけられました。後に四十四坎街の建物には道路の拡張によって次々と解体されましたが、それでも街中にある正一堂国薬号など多くの店舗が今もまだ残っています。哈密街と重慶北路の交差点の地面に刻まれた「大隆同」の文字には、かつて賑やかだった商店街の面影が残っています。大龍峒保安宮（バオアンゴン）の周辺に凝縮された信仰と文化はこれだけではありません。ほかにも台湾で唯一の「耳のない金獅子」というローカルの大龍峒金獅団があります。設立された時期が大龍峒とほぼ同じで、当初は民間防衛の需要によって結成されましたが、後に武術が芸術に変わり、獅団へと転身しました。

耳のない獅子は流言飛語に惑わされず、目の前の芸と目標に集中する象徴です。この精神もまた、獅芸文化と共にいくつもの時代を越え、大龍峒で根を下ろしました。

- 01. 保安宮は台北に住む人たちが多く訪れる宗教信仰の中心的な場所です。
- 02. かつて「四十四坎街」と呼ばれた哈密街には、清朝時代に整備された町並みが残っています。



03

台北の文学系青年のルーツを巡る

四十四坎街で立身出世した陳一家は、大龍峒地区の豊かな人文の礎を築きました。清代に樹人書院を建設し、日本統治時代には孔子廟を建設。陳一家の祖先の邸宅である陳悦記祖宅（チェンユエジーズサイ）は大龍峒の有名な古跡となっています。

延平北路四段に位置する陳悦記祖宅は、商売で富を成した陳遜言（チェンシュンイエン）が1807年に建設した閩南様式四合院造りの大邸宅です。現在も邸宅には挙人に合格した家に建てられる彫刻を施した一対の石柱「石旗竿（彫刻）」が見られます。これは台湾に現存する唯一の一对です。

陳家はかつて、清代に官職と多くの書院で教員を務めた陳維英（チェンウェイイン）を含む3人の

挙人を輩出しました。挙人とは清代の科挙制度に合格をした人を指します。

陳家は数々の秀才を輩出したことから、尊敬の念を込めて現地で先生と呼ばれました。そこから派生して陳悦記宅も「老師府（老師は先生という意味）」と呼ばれています。

老師府は今もその一部を陳家の子孫が使用していますが、遠くから眺めると邸宅の外観に修繕された痕があり、凝縮された長い年月を垣間見ることができません。

教育の普及を重視した陳維英は、保安宮内に「樹人書院（シューレンシューエン）」を設置。現地の青年に知識を教え、地方文化の発展を推進し、大龍峒に知的で文学的な雰囲気增添了。その後、樹人書院は日本統治時代に保安宮から転出し、別に「樹人書院文昌祠」が建てられました。また、奨学金を与えて多くの

生を奨励し、人材を育成したことから、現在では受験生の間に伝わる「隠れスポット」となっています。毎年学期末試験前になると、溢れんばかりのお供え物が添えられ、受験生たちが誠意を持って祈りを捧げていることがわかります。

老師府の陳悦記祖宅と樹人書院は、台北で最も早期に文学系青年が集まった場所であり、現在でも大龍峒の教育文化を見守り続けています。

03. 老師府の中には功績を称える「扁額」が今でも残っています。

学問の名家が伝える 台北の孔子廟と 儒家思想

大龍峒の陳家は、当時の台北孔子廟と儒家思想の伝承を促す推進者でした。台北最古の孔子廟は清代に建立され、場所は当時の台北城南門内にありました。しかし、日本統治時代には解体され、そこに第一高等女学校及び日本語学校（今日の北一女及び台北市立教育大学）を建設。

日本統治時代中期になると、台北の地方の有力者が孔子廟なくして儒学の伝承は困難と考え、孔子廟の再建を協議しました。当時会議に出席した陳培根が、孔子廟を大龍峒に建設できるのであれば、家族の土地を寄贈したいと申し出ました。それによって最終的に再建が決定し、1927年に正式に起工。1939年に全体の建築群が落成し、

今日私たちが目にしている孔子廟が完成しました。

この孔子廟は、大龍峒地区が貫いてきた漢学文化のこだわりが守られています。現代を生きる私たちにとっては、台北城の変化と発展の流れを知ることができる貴重な場所です。

大稻埕のように昔ながらの台北の商業活動を継承する華やかさはありませんが、閑静な路地裏と安らかな寺廟は、芸術と文化的な雰囲気を感じることができません。

04. 近代に建立された台北孔子廟は、台北に残る漢民族の文化を守り続けている場所です。(写真/Taiwan Scene)



04

台北を駆けるプライドリボン

文：Seb Morgan 編集：下山敬之 写真：Samil Kuo、Asia Rainbow Ride、晶晶書店、Taiwan Scene



01

01. Asia Rainbow Ride の創設者 4 人は、台湾の安全で開放的な環境の中で、より多くの可能性を展開していきことができると信じています。

02. Asia Rainbow Ride はサイクリングを通して、各国から訪れた旅行者とローカルの人々を結びつけています。(写真/Asia Rainbow Ride)



02

新型コロナウイルスの拡大によってイベントが中止される前は、川沿いの公園をレンタサイクルのYouBikeに乗った人々が駆け抜けていました。自転車に七色のプライドリボン（LGBTQのシンボル）をはためかせて疾走するのは、Asia Rainbow Ride（亜洲彩虹騎行）の参加者たちです。

「日常の『安全地帯』から一步を踏み出し、プライドの旗を掲げて自転車で走ることで、初めて



味わえる経験がたくさんあると思います。」と語るのには、Asia Rainbow Rideの創立者の1人であるオリビア・ウーさん。オリビアさんとパートナーのイヴさんが、性的マイノリティ（性的少数派）活動の仲間であるリサさん、ジェニファーさんカップルとともにAsia Rainbow Rideを創設したのは、1年前のこと。彼女たちは2021年の10月に「サイクリングによるプライドパレード」を企画中です。これは、台湾のLGBTQA+のチャリティ団体を支援する目的があり、台湾の中でも起伏の多い、北東の海岸線を回る二泊三日のサイクリング・ツアーとなりました。また、「自分らしさを

称える健康的でポジティブな活動」ということで、3月から毎月、MRTの駅からYouBikeに乗ってサイクリングをするソーシャルライドを実施して来ました。残念ながら現在は感染症対策で中止なっていますが、それ以前は性的マイノリティとして自信を持ちたい人たちが交流するコミュニティとして機能。イベントを通じて、参加者たちが仲間とふれあい、新しい友人を作るきっかけとなっていました。

「最近はお親に同性愛者とカミングアウトするか悩んでいた若い男性と交流する時間を持ちました。難しい状況に直面する彼を、応援することができました」とリサさんは話します。

居場所を見つける

保守的なアジア系アメリカ人の家庭に育ったジェニファーさんは、「私が20代前半でカミングアウトした時、周りに同性愛者の知り合いは一人もいませんでした。だからこそ、自分で自分をどうしたらいいか全くわかりませんでした」と振り返ります。

2007年、ジェニファーさんは「LGBTQIA+とHIVセンター」を支援する「AIDS Lifecycle」というイベントに参加。「これまで、社会的に差別されていた同性愛者、HIV感染者、障がい者、それにサイクリングの初心者たちが、3000人近く集まりました。ここでは誰もが受け入れられ、拍手喝さいを浴びました。その時、私は妻と出会ったんです!」。

リサさんは当時、サンフランシスコで同性愛者

の移住者を対象とした、HIVソーシャルワーカーとして勤務していました。二人は後にアジア、アフリカ、南米を周り、性的マイノリティの体験を記録する旅に出发。2015年にはドキュメンタリー「Out & Around」を発表しています。

台湾で多様性を満喫

「Out & Around」の旅の一環として台北を訪れた2人は、台湾のゲイカルチャーの活発さ、特に性的マイノリティの女性を支える多様性に感銘を受けました。「ライフスタイルはもちろん、オリーブアに出会った場所でもある愛之船啦啦時尚概念館や、「GBTをテーマに掲げた晶晶書店などのスポットには、本当に驚かされました」とジェニファーさんは話します。



03

03. 台北ではサイクリングもLGBTQIA+のコミュニティを支援する方法の1つです。(写真/Asia Rainbow Ride)



04

04. 晶晶書店はジェンダー問題をテーマにオープンした台北初の書店で、特にフェミニズムとLGBTの権利に力を入れています。(写真/晶晶書店)

晶晶書店は台北初のフェミニズムとジェンダー問題に焦点を当てた書店で、台湾のジェンダー運動を数多くサポートしています。店内では様々な本や映像作品、アートワークを取り扱っています。イブさんも、初めてカミングアウトした際に、台北の文化に支えられたと語ります。「台湾に初めて来たとき、私はLGBTQA+の一人としてまだ日が浅く、コミュニティの情報を得る方法を模索していました。まずレインボーフラッグを買ったんですよ。これが私！と表現できる物が欲しかったんですね」。

イブさんが育ったシンガポールの文化はとても保守的なため、自分のアイデンティティの公表はかなり困難です。「老若問わず、性的マイノリティの人たちが、手をつないで歩いている様子を目撃したことは、私にとつて大きな変化でした。そして、台湾「GBTプライド」のパレードに多くの人々が集まっていることは、さらに大きな衝撃でした」。

リサさんも同様に考えています。「アジアでは性的マイノリティのアイデンティティが無視され、西欧独自の個性とみなされてきた歴史があります。ですが、台湾にはLGBTQA+コミュニティを底上げする力があります」。

「Asia Rainbow Rideが行うイベントは、日本やシンガポールからも参加者が集まります。お互いの考えを共有できる場所として、大きな意味があります。他人の目を気にせず、安心して新たな友情が育める場所です」。

「こういうライフスタイルもあるんだ、と実感してほしいですね」とジエニファーさんは付け加えます。



05

一体感を感じながらのサイクリング

Asia Rainbow Ride は、単純に海岸沿いの景観を満喫するイベントではありません。参加者が新たな友情を育み、台湾の性的マイノリティのコミュニティを知るチャンスを与える活動です。昨年のイベントでは、海沿いのホテルに宿泊し、映画の上映会、ドラァグ・ショー、ビーチでのヨガなどを楽しみました。

イベントはサイクリング未経験の方も参加できます。「去年の参加者の大半は初心者か、中級者でした」とリサさんは言います。ペースによってグループ分けし、さらに電動自転車や救助用の車も並走しているので安心です。

安全性と支援を軸に企画されているので、参加者に思い切り楽しんでほしいとオリビアさんは願

っています。

また、イベントを支援する非営利団体が、台湾やアジア全体で起きている問題について「イベントがこういった団体の資金を集め、その活動の支援をしたいと考えています」とリサさんは思いを吐露します。



06

05. 台北では国籍や民族、セクシャリティを問わず、誰でも自由にサイクリングが楽しめます。

06. Asia Rainbow Ride の参加者は LGBT の人たちのシンボルであるプライドリボンを自転車にくくり付けて、サイクリングを行います。

奇跡の輪を広げる

Asia Rainbow Rideの収益はすべて、台湾を拠点とする3つの非営利団体（台湾同志諮詢熱線協会、台湾紅絲帶基金會、彩虹平權大平台）に寄付されています。これらの団体は、2017年の同性婚認定を実現させた立役者であり、活発なロビー活動を行った団体です。

台湾はアジアで初めて同性同士の結婚を合法化した国です。このことはLGBTQIA+の人たちにとっての大きな一歩でした。ただ、Asia Rainbow Rideはこれで終わりにするのではなく、より多様化された寛容な社会を作り上げていくことを望んでいます。

「LGBTQIA+と聞く、固定概念で考えてしまいがちですが、実際には高齢の人々や親御さん、養子が欲しい人など様々です」と話すオリーブアさん。

リサさんは「これらの非営利団体は、本当にわずかな予算で奇跡を生み出しています。なので、彼らの活動をさらに拡大していくことが大切だと考えています」。

過去20年間の大きな進展にもかかわらず、コミュニティの主流から外れた人々は、まだまだ多くの課題を抱えています。その1つがHIV差別です。台湾衛生福利部（日本の厚生労働省に相当）が2017年に行った研究では、HIV感染経験のある回答者のうち5人に1人が家族からの差別を経験。さらに病院での診察を拒否された経験があると報告しています。

「これらはもっとオープンに語られなければいけません。こうした話題を避ける人たちに、声を届けたい。無視しても問題は消えないと気づいてほしいです」とオリーブアさんは語ります。だから

こそAsia Rainbow Rideは未来に目を向け、一緒に何を創造していけるのかに焦点を置いた活動を続けています。

サイクリングは楽しいアクティビティですが、台湾ではさらに意味のあるプロセスへの参加にも繋がります。それを実現できるのがAsia Rainbow Rideです。◆

07. 台北市はLGBTの人たちに優しい都市として毎年パレードを開催し、ジェンダー問題に関心がある人たちを受け入れています。(写真/Taiwan Scene)

▲ TAIPEI からのお知らせ：

新型コロナウイルス特別警戒期間中は特に感染予防に注意をしてください。不要不急の外出は控え、外出する際は必ずマスクを着用し、各地の規則に従ってください。



07



写真 / 熊谷俊之



夏の暑い日は台北で一人静かに過ごしてみよう。

親子でクッキング 食べる楽しさを学ぶ

文：田育志 編集：下山敬之 写真：林冠良、黄映嘉、Josh Bean



01

世の中のお父さんお母さんの関心事の一つに、お子さんの成長過程において重要な子供の食事があります。台北はグルメでも有名な都市ですが、健康的な食べ物はありません。台北の児童の食育を専門とする栄養士の李婉萍（リーワンピン）さんは、ビタミンD、カルシウム、鉄分、βカロチンを含む食材は子供にとって不可欠だと言います。中でも深緑やオレンジ色の野菜・フルーツを選ぶのがおすすめ。特に真夏は野菜や果物の種類も豊富なので、夏休み中に親子で料理をして、健康的な食事をしながら思い出作りをしましょう。栄養バランスのとれた食事を摂ることで、子供の筋肉の発達も促進されます。

一般的に家族を連れてファミリールレストランへ行く際は、リラックスできるかを重視する傾向に

ありますが、栄養士の李さんは子供に適したメニューがあるかにも気をつけています。「ほとんどのレストランには、手早く作れるチキンナゲットやフライドポテトなどがあります。ただ、子供の中で「揚げ物II楽しみ」という連想ができて、それに慣れてしまうと、将来的にストレスを感じた時に揚げ物を食べて発散しようとしてしまいます。」と李さんは注意を促します。

就学年齢以前の子供に必要な栄養素は、普段の食事で摂取が可能だそうです。例えば、丈夫な骨を作るカルシウムは牛乳、ヨーグルト、チーズなどの乳製品で摂取でき、鮭やサンマ、鯖、卵黄からは、ビタミンDが摂取できます。なので、鮭チャーハンやシーフードクリームリゾットなどは、子供の栄養摂取にぴったりの料理だと言えます。

コツは根菜と冷 凍野菜の常備

現在の子供は慢性的に「葉酸」の摂取が不足しているそうです。これらの栄養素は、少なくとも2日に1回緑黄色野菜を食べれば十分な量を摂取できます。特にゴーヤー、カイラン、菜の花などは子供にとって大切な野菜です。

食材のバラエティが豊富になることで、子供の偏食を減らすことができます。李さんは考えています。「子供が『食物新奇恐怖症』になると食べず嫌いになってしまうので、普段とは違った料理を出すことも大切です。食材のバラエティが豊富になりますし、子供もゴーヤーなどの普段食べない野菜を食べるようになるので、食べ残しも少なくなります。」

しかし、一般家庭では仕事が忙しく、料理に使

える時間は限られています。そこで李さんがおすすめするのが、カボチャやダイコンなどの根菜類です。その理由は、これらの食材が保存に適している、料理にも非常に使いやすいからです。他にも冷凍の枝豆、ブロッコリーも冷蔵庫に常備すべき食材です。ブロッコリーや枝豆は解凍、加熱をすればすぐに食べられますし、炒め物にも適しています。加えて、李さんはできるだけ親子で料理をして、親子の絆を確かめる時間も作ってほしいと話します。

01. 日常的な食材から栄養価の高い子供向けの料理が作れます。（写真/黄映嘉）

02. 李さんは鮭と緑黄色野菜は栄養価が高いため、日々摂取するべきだと話します。（写真/Josh Bean）



02

親子で料理 子供の協調性と 創造力を養う

李さんは親子で料理するのにも最適な2種類のレシピを教えてくださいました。一つ目は「南瓜麵疙瘩(カボチャの中華風すいとん)」です。「麵疙瘩はクッキー用の金型を使って様々な形にすることが出来ます。こねるときに手の筋肉使うので、遊ぶのと同じ感覚で手と目を効率的に動かす方法が学べます」と李さんは言います。注意点としては、麵疙瘩をこねるときに厚くなりすぎないようにすること。それ以外は自由に遊びながら作れます。また、製作途中で子供たちをほめると、自信を高める良い機会になります。

二つ目の料理はすぐに行ける「ニンジンの卵炒め」です。この料理はβカロチンの他に、卵に含まれるレシチンとビタミン

Dが摂取できます。ニンジンの青臭さを取り除くには、十分な油脂が必要なので、油を少し多めにします。また、スライサーを使用するより包丁を使用する方が、形が均一になりやすく、炒めた後も柔らかくなりやすいです。また、包丁で切れば形や角度によって、様々な食感が楽しめます。子どもには卵を溶く部分だ

けでもチャレンジさせてみましょう。最後に李さんは、「子供に料理の危険性を説明して、話しながら作業をしないように教えてあげてください。キッチンには刃物や火気など危険が潜んでいるので、そのことに注意しながら親子で楽しく料理をしましょう。」と注意を述べました。



03

03. すいとんのこね方は自由で、食材の下ごしらえをしながら子どもも手足の使い方を学ぶことができます。(写真/黄映嘉)

04. 李さんは、手早く作れて栄養価の高い料理を作ることを強くおすすめしています。



04



親子で作る料理のレシピ

カボチャの中華風すいとん

すいとんは生地をこねる行程が子供にぴったりです。手の筋肉を鍛えることにつながります。

主材料:

カボチャ - 60g、ニンジン - 40g、黒キクラゲ - 40g、ひき肉 - 80g、中力粉 - 100g、片栗粉 - 50g、塩 - 小さじ1/4、ネギ - 適量、エビ - 少々、お湯 - 1,000c.c

手順:

1. ニンジンと黒キクラゲを洗ってから千切りにします。エビは20分ほどおいて水気を切りましょう。
2. カボチャは皮をむいてからブロック状に切り、柔らかくなるまでポイルします。
3. かぼちゃに中力粉、片栗粉、塩を混ぜ合わせ、べたつかない程度になるまでこねて、すいとんの生地を作ります。生地は3～5分寝かせた後にお湯に入れ、浮き上がってくるまで茹でます。
4. 別の鍋に油をひいて玉ねぎとエビを炒めます。そこにお湯、ニンジン、黒キクラゲを加えて煮だしたら、すいとんを加えて出来上がりです。



ニンジンの卵炒め

簡単に作れる「ニンジンの卵炒め」は栄養が豊富なだけでなく、食感も豊かなので子供にも喜ばれます。

主材料:

ニンジン - 半分、卵 - 4個

手順:

1. ニンジンを洗って皮をむいたら、千切りにします。
2. 鍋に油をひいてニンジンが柔らかくなるまで炒めます。
3. 溶き卵を加えて、好みの硬さになるまで卵を炒めます。
4. お好みで調味料を加えて出来上がりです。

ローカル食材の美学を尊重 台北のスローフード精神

文：田育志 編集：下山敬之 写真：張晋瑞



01

01. 有機農法で作られた小規模農家のワインを広めることも、スローフードの概念に沿った活動であると周さんは考えています。

近年、世界では「スローフード」という概念が注目を集めています。スローフードは「原点回帰」の精神を強調し、消費者に過去の飲食文化に目を向けるよう伝える考え方です。ここ数年で台北でもこの精神が広がりはじめました。かつてイタリアのスローフード大学（UNISG）で学んだスローフード・ドリンクの専門家である周郁華（ジョウユーホァ）さんは、台湾で10人に満たない Certified Cicerone® の認証を受けたビールソムリエです。また、スローフードの精神をローカル食材と融合させ、じっくりと手間をかけた料理、丁寧に味わう飲食ライフを台北で普及させています。

スローフードの ローガン：Good、 Clean、Fair

「スローフードは、ゆっくり食べることでなく、ファーストフードの対になる概念です」と周さんは話します。スローフードは、反ファーストフード文化の精神の中にある「原点回帰」から始まり、ファーストフードが生まれる前の飲食習慣へ戻ろうとする考え方がです。

スローフード文化は、その発展とともに「Good、Clean、Fair」という3つのローガンを形成しました。「Good」とは美味しさを指します。いかに食材を理解し、どう処理するかで料理の質は変わるので、料理人の魂が重要です。「Clean」は食材の生産過程において、環境にやさしく、持続性を持っていることを指します。「Fair」は生産者が得るべき報酬を得ているか、公平な扱いを受けているかを意味してい

ます。「このローガンは互いに影響し合うので、明確に区分することは難しいです」。周さんによると、これまでの科学肥料を使用したブドウ栽培は、農家の体にとって有害で、環境汚染も引き起こしてきました。しかし、「自然酒」であれば、有機農法で栽培されたブドウを醸造し、品質の高いお酒を作るだけでなく、環境にもやさしく、農家の労働条件も改善されます。これこそがスローフード

のスローガンを総合的に体現した新しい飲食文化の形です。

こうしたスローフードの概念は飲食の消費が盛んな台北であれば、容易に普及と定着ができると周さんは考えています。その理由としては、台北はレストランの種類や店舗の数が多く、消費者も多いためです。スローフードから派生した料理もあるので、試してみたいと考える人や受け入れる層も少なくないためです。



台湾の食材に回帰する

「台湾が実践するローフードの精神は、『ローカル食材』に回帰するです」。有名レストラン「RAW」のシェフである江振誠さんがローカル食材の使用を提唱しました。それにより、台湾の飲食業界でも「台湾の味」、「現地の料理」とは何か、が日に日に議論され、台湾に元々あった食べ物、再び食卓に戻そうという動きが始まりました。これは凶らずもローフードの原点回帰の精神と一致しています。

近年では、ファインダイニングをアピールするレストランが次々と台北でオープンしています。周さんによると、ファインダイニングは価格がやや高いものの、これらのレストランのシェフはローカル食材の考え方を考えています。仁愛路の路地

裏にある「Embers」のシェフであるMasさんは、先住民の飲食文化をコンセプトにメニューを考案しました。例えば「海耳」という料理は、アミ族が海辺で拾っていた貝類を表現した一品です。他にも「拾八豆」は豆花をベースに、干し豆腐、豆枝、豆豉、豆酥といった大豆製品を取り入れることで、ブヌン族の種を保護する伝統をオマージュしています。また、東区の「Museo」では、アスパラガスの代わりにキャベツを使用し西洋料理の付け合わせにしています。

高級レストランの「祥雲龍吟」でも、ローカル食材を使用しています。「これまで高級レストランといえば、フランスのブルーオパール、北海道のホタテといった輸入食材を使用するイメージがありました。でも今の新世代のシェフは、消費者のお金がよりローカル食



材に使用されるようPR
をしています」ローカル
食材が洗練されていくと、
より多くの人たちにその
価値が認識される。これ
もまた「Good」というス
ローガンを体現した動き
であると周さんは考えて
います。

また、台北ではファーマーズマーケットが盛ん

ですが、これもスローフード文化と関係がありま
す。例えば、消費者が小
規模農家の有機食材を購
入することで、お互いに
中間業者のマージンなし
で直接商品の売買がで
きるのび、「Good」、「
Clean」、「Fair」全
ての概念に一致します。

02. 「Embers」の「拾八豆」は、各種の豆製品をベースに、ブヌン族の料理の多様性を表現しています。

03.-04. 「Embers」のシェフであるWesさんは、アミ族が拾っていた貝類をメインに、麦の香りあふれるビールを組み合わせ、ローカルの味わいのコラージュを作り上げました。



04



03

 お酒は適量を



06

『台湾の味』に対するイ

初回の遊牧バーの感想について、周さんはこう述べています。「シエフのW&Sさんの長らく追求してきた『ローカル』、



05

それぞれのスタイルでスローフードを支持

周さんは自分なりのスローフード精神の実践方法を持っています。彼女がこれまで企画したイベントでは、いずれも自然酒、小規模農家のワイナリー、現地の酒造メーカー、現地の原生品種を使用して醸造した製品をセレクト。昨年末には「遊牧バー」というタイトルのコラボ企画をスタートしました。これはセレクトしたお酒を期間限定で提携レストランにて取り

マジネーションに 대응、今回は「自分の味をコラージュ」というテーマにしました。台湾の飲食習慣でよく見られる氷抜き、砂糖少なめ、辛めなどのように、お酒の味もカスターマイズできるようにしました」。そうして生まれたのが、「苦味、麦、酸味、フルーティー、スパイシー」という5種類の香りのビールベースで、ゲストが自由にアレンジできるようにしました。

05. 周さんが始めた「遊牧バー」は、各有名レストランとのコラボやローカル食材の紹介を通して、スローフードの精神が広まってほしいという願いが込められています。

06. 周さんは、様々な食べ物の香料をコラージュし、フレーバーの異なる6種類の「アレンジビール」を作り出しました。

「私は台北はとも自由な発想を持った都市だと思えます」と周さんは述べます。自由であるからこそ、発想の幅も広がる。すでに多くのシエフが自分の得意とするスタイルで、スローフードの概念、あるいはローカル食材を料理に取り入れています。消費者がスローフードを支持する方法は、ファインダイニングのレストランに行くだけではありません。小規模農家のミルクやフェアトレードのコーヒー豆を使用した街角のカフェで、カフェラテを飲むことでも貢献ができます。

台北で味わう思いのこもった チョコレート

文：林佳蕙 編集：下山敬之 写真：顔涵正、Rodrigo Flores

2月のバレンタインデーは人々が好意を伝えあう日ですが、台湾ではこの他にも旧暦の7月7日の七夕がバレンタインです。こうしたイベントには、甘く濃厚な味わいのチョコレートが最適。台北ではチョコレートスイーツが浸透するとともに、これまでにはない変化も起きています。今季の《TAIPEI》では、「Q sweet 精品甜點（ジンピンティエンディエン）」のパティシエである呉葵妮（ウーキーニー）さんと旅と食に関するライターの徐銘志（シューミンジュー）さんにインタビューを行い、世界レベルの良質な台湾チョコレートについてお話を伺いました。



01. 呉葵妮さんと徐銘志さんは、台北のチョコレートのトレンドに対するそれぞれの意見を語ってくれました。

01



02

幸せを感じる甘い魅力

父親が仕事で世界各地を回るため、呉さんは小さい頃から各国のチョコレートとを味わってきました。そのため、チョコレートに関して抜kindでた味利きの能力を持ってい

ます。呉さんはその後、ベルギーのチョコレートアカデミーを卒業。ありとあらゆるスイーツの中で、チョコレートはその独特な作用が人々を魅了していると考えています。「チョコレートを食べると、ドーパミンの分泌が促され、幸福感や愉快な

気持ちにさせてくれます。スイーツの世界では代用の効かない食材です。」と呉さんは言います。一方、徐さんはチョコレートの魅力に気づくのが遅かったそうです。学生時代は多くの人と同じで、お店の棚に並ぶチョコレート製品を食べる程



03

02. 手作りのチョコレート製品には職人の魂が注がれています。

03. 近年は、台湾にもローカルな風味のあるカカオ豆を使った商品が輸入されるようになり、チョコレート愛好家もより豊富で多様な味を体験できるようになりました。

度でした。その後、ジャーナリストとなつてからはライフスタイルの分野を掘り下げるようになり、そこでチョココレートの奥深さに気づきました。「私はカカオが栽培地の気候と環境によって味が変わり、チョココレートもワインと同じように、食べる前、食べている最中、食べた後の余韻に変化があることを知りました。これは安価に作られた商用のチョココレートにないもので、私のチョココレートに対する興味を沸かせてくれました」。

ローカル食材が与える食の趣き

チョココレートは奥深く、創造力があることを知っている呉さんは、24歳の若さでスイーツチェーン店のブランドディレクターになりました。自らブランドを立ち上げるに当たり、世界的レベルのも

のにしたかったと言います。「上海の外灘というエリアでファッション業界が盛り上がっているのを見て、スイーツも同じだと感じました。パティシエが裏路地で小さなお店を構えるのは過去の話です。今は国際競争の時代には、盲目的に流行を追うのではなく、好きなものを選び、そこにいっばい情熱を注ぐこと。私は自分の一番好きなチョコレートのお店では、競争に勝つためにキーキやお菓子、ドリンクなど、すべて最高のものを提供しています」。

こうした信念を持つ呉さんは、2019年のインターナショナルチョコレートアワード(ICA)において、台湾初となる「ホワイトチョコレート・パー部門」で賞を獲得。さらに2020年のICAアジア太平洋地域大会では、「ブラックチ

ョコレートガナッシュ・トリュフチョコレート部門」で金賞を勝ち取りました。

カカオは栽培条件の違いによって独特な風味を備えます。徐さんは多くの国が、この基準で独自のチョコレート商品を開発していることを知りました。また、台北のパティシエも次第にこだわりを持った製品開発を始めるようになっていきます。

徐さんは特に、「法朋」というお店の6種類(バラ、醤油、龍眼、ひね生姜、ゴマ、パクチー)の風味を持つチョコレートや、「畜室」というお店の「黒ゴマ油塩花」などに強い感銘を受けたそうです。「こうした一般的な食材とチョコレートとのコラボは、台湾の消費者に関連の深いものであるという親近感を感じさせてくれます。」と徐さんは言います。



呉葵妮

ベルギーのチョコレートアカデミーを卒業。カカオの風味に対する愛好と信念から、「Q sweet 精品甜點」を開業。2019年には、インターナショナルチョコレートアワード(ICA)の「ホワイトチョコレート・パー部門」で賞を獲得。翌2020年にはICAアジア太平洋地域14カ国で、最も受賞数の多いパティシエとなる。



徐銘志

フリーライター。《GQ》、『商業週刊』、『経済日報』などの媒体で執筆を担当。近年はライフスタイル分野に焦点を当て、新聞雑誌などにチョコレート関係の投稿している。

黒、白どちらも 良い

徐さん曰く、チヨコレートが好きな人は、だいたい黒チヨコレートから始まります。最近では、カカオ豆の産地の風味を重視している他、豆の選別から焙煎、仕上げまでを一貫して行う「ピントウバー」という考えが広まっています。これまでは既存のチヨコレート製品を加工していましたが、それを棄てて、豆の選別を含むすべての工程で最高水準のものになるよう努力をしています。例えば、徐さんが気に入っているベトナムの「MAROU」やイタリアの「AMÉDÉE」といったブランドチヨコレートは、風土の特色を重視した製品です。台湾国内にもこのような商品が輸入され始め、消費者の舌にも大きな影響を与えています。

黒チヨコレートは甘さによって違いがあり、好みに合わせた選択ができます。「わたしは熟した、大人らしさのあるほろ苦いチヨコレートが好きです。こうした苦味は甘い後味があるので、常に一定の甘さではなく、時間とともに味わいも変化します」。消費者の多くはカカオの含有量で黒チヨコレートを選びますが、これは指標にはなりません。徐さんは、「それはカカオペーストとカカオ脂の合計を表すだけです。両者の比率こそが、メーカーのこだわりであり、食感にも影響を与えています。結局は風味で判断をするのが一番ですよ。」と教えてくれました。

どちらかといえば黒チヨコレートのほうが主流ですが、呉さん曰く、近年ではホワイトチヨコレートも世界的なトレンドになっているそうです。「黒チヨコレートは濃厚



04

なので、多くの食材の味を押しこみます。ホワイトチョコレートはそこまで濃くなく、パティシエが自由な発想で使用できます。そのため、ここ数年はホワイトチョコレートで大会に出場する人も多くなっています。呉さんが開発した「花椒入りチョコレート」や「ダブルベリーチョコレート」も、黒チョコレートが好きたったお客さんの多くを虜にしました。「現在の消費者は機械生産と手作りの違いをよく知っているので、パティシエもより創意創作をする機会が与えられ、幅広いアイデアを試すことができますように」

と呉さんは話します。今はチョコレートに関する情報もはるかに多く、職人たちも切磋琢磨して新しい商品の開発に精を出しています。二人も消費者がよりチョコレートを楽しむ、食べ比べ、奥

深い世界を探索してほしいと願っています。そうすることで、自分に本当に合う味が発見できるかもしれません。◆

04. 「Q sweet 精品甜點」では、様々な食材を取り入れた革新的なチョコレート製品で、世界中の愛好家たちを魅了しています。

05. 最近チョコレートの主原料であるカカオ豆の各原産地は、台湾のチョコレートの専門店から大きな注目を集めています。(写真 /Rodrigo Flores)



05

ホテル経営と 台北生活の哲学

文：Alan Hunt 編集：下山敬之
写真：Samil Kuo、シャールウッド台北

台北には、様々なことにチャレンジする多種多様な人たちが暮らしています。今回の《TAIPEI》では、シャールウッド台北（台北西華飯店）のゼネラルマネージャーを務めるアキム・フォン・ヘイクさんにインタビューを行いました。アキムさんは、1980年代後半にドイツでホテルマンとしてのキャリアをスタートさせ、1992年に渡台。他にも米国アトランタ州や香港での勤務経験があります。そして、2011年にはシャールウッド台北のゼネラルマネージャーに就任し、今日までホテル経営の舵をとってきました。



01

02



世界各国を経て 台北へ

各国のホテル業界での体験を持つアキムさんは、台北のホテル業界についてこう話します。「私が初めて台北に来た時、シャールウッドは台北初の5つ星ホテルでした。ただ、他の先進諸国とは違い、ここでは私たちがゼロから立ち上げる必要がありました」。以前に比べると現在のホテル業界はハイクラスな選択肢が増えています。台北と他国の

01. 30年前に台北に渡ったアキムさんは、現地のホテル業に従事し、最高品質のサービスを提供し続けています。

02. 長年に渡りマネージャーを努めてきたアキムさんは、ジャッキー・チェンを始めとする多くの著名人の接待をしてきました。

ホテルの違いについては、「台北のホテルは、量よりサービスの質を重視すること。そして、各お客様に合わせたサービスを提供しています」と答えています。

実際、同ホテルでは、元英国首相マーガレット・サッチャー、元米国大統領ジョージ・ブッシュ夫妻など、数々の著名人が宿泊をしています。「お客様にできる限りのおもてなしをする事が、一番大切なポイントです。この街とこのホテルで素晴らしい体験ができれば、お客様はきっとまた台北に帰ってきてくれます」。

毎日のルーティン

アキムさんの業務は、セールス会議や部屋の改築の監督、お客様への挨拶など多岐にわたります。

ただ、前日と全く同じルーティンワークは好まないと言います。「私は時計を見ないので、ルーティンワークは合いません。ただ、毎朝8時頃にホテルに着き、朝食の間にお客様にご挨拶することは常に心がけています。朝食時は特に色々な話をしてくれまし、本音も出やすいからです」。

こうした「直に触れあう」サービスこそ、このクラシックなホテル最大の魅力と言えます。

新型コロナウイルスの感染拡大によって、台北の観光業界は大きな衝撃を受けました。アキムさんの経営するホテルでも、これまでとは違ったビジネス展開が必要となっています。他のホテルは自

主隔離用のホテルとして舵を取りましたが、アキムさんは様々なテイクアウトランチを開発する戦略を取っています。ロブスターやステーキ、ハタなどの高級食材を使ったお弁当の販売で、ホテル内の飲食ができない今の状況下では好評を得ています。

ホテルの経営は普段の生活から

アキムさんはホテルマンとして、ビジネスチャンスは人との交流にあると信じています。そのため、週末も会合に参加したり、ミーティングを主催しています。そういった交流によって他の業界のことが分かり、それがホテル経営にも活きるそうです。「多くの外国人と同様に、私も鼎泰豊が大好きです。美味しい料理だけでなく、ハイクオリティなサービスから学

べるものがあります」。

30年近く台北で暮らすアキムさんの生活は、街の人々と密接に関わっています。例えば、仕事の合間を縫って経営哲学を広める活動をしています。「クライアントを増やしたい、ホスピタリティを学びたいという学生グループや起業家グループのために、時間を設けることもあります」。

このようにアキムさんの台北での生活は、あらゆる面においてホスピタリティビジネスに活かされています。◆

03. シャーウッド台北では新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、台北内での飲食サービスを停止し、テイクアウトできる豪華なお弁当の販売を始めました。(写真/シャーウッド台北)



TRAVEL INFO

旅のお役立ち情報

台北 MRT

営業時間：06:00～24:00

24時間お客様専用ダイヤル：(02)218-12345

切符：



IC トークン (片道切符)
NT\$20-65



MRT 1 デイパス
NT\$150



24時間バス
NT\$180



48時間バス
NT\$280



72時間バス
NT\$380

電子マネー：

電子マネーとして、チャージするだけで MRT(都市交通システム) など公共交通機関やコンビニエンスストア、特約商店での小額決済ができます。シェアサイクルの YouBike にも使えます。購入は MRT やコンビニなどの取扱店で。



EasyCard



iPass

バス情報

乗車運賃：

大人：現金、EasyCard いずれも 1 区間ごとに 15 元

学生：現金は 1 区間ごとに 15 元、EasyCard の場合は 1 区間ごとに 12 元 (学生証の提示が必要)

身長 115cm 未満あるいは満 6 歳の小人：身分証がある場合は無料

バスの路線情報：

Taipei eBus
ebus.gov.taipei/ebus

YouBike 情報

YouBike は台北市の公共レンタサイクルで、Easy カードやクレジットカードでレンタルが可能です。利用料金は 1 時間ごとに発生し、レンタル時間の長さによって変動します。詳細は以下を参照してください。



YouBike のレンタル会員になりたい方は、こちらのページよりご登録ください：taipei.youbike.com.tw/home

北北基おもしろカード

北北基おもしろカード：

12 の素敵な観光地 + 交通機関乗り放題の「無限周遊カード」、交通機関乗り放題の「観光スポット周遊カード」、交通周遊カード」の 3 種類。有効期限内に台北市と新北市、基隆市を思う存分遊ぶことができます。



無限周遊カード
有効期間は
1日/2日/3日券
NT\$1,200/1,600/1,900 元



観光スポット周遊カード
2日/3日/4日券
NT\$650/850/1,050 元



交通周遊カード
有効期間は
1日/2日/3日/5日/
猫空ロープウェー 1日券
NT\$180/310/440/700/350 元

旅のインフォメーション

交通部観光局 24時間対応、無料の旅行情報ホットライン：0800-011-765

24時間対応、無料の外国人在台生活相談：0800-024-111

北市民ホットライン：1999 (台北市外 02-2720-8889)

台北トラベルネット：www.travel.taipei/ja (中、英、日、韓、タイ語、インドネシア語、ベトナム語、スペイン語による市内観光情報)

各交通機関や施設の営業時間については、利用前に HP などでご確認ください。

薬物中毒に関する問い合わせ先

0800-770-885

- ✓ 薬物問題に関する問い合わせ
- ✓ メンタルヘルスケア
- ✓ 法律に関するお問い合わせ
- ✓ 就学コンサル
- ✓ 医療に関するサポート
- ✓ 社会保障
- ✓ 依存症治療
- ✓ 薬物中毒撲滅プログラム
- ✓ 民間治療センター情報
- ✓ 職業訓練と就業サポート

台北市薬物乱用防止センター
<https://nodrug.gov.tapei>
薬物乱用防止フリーダイヤル
0800-770-885 (24時間対応)



手洗い



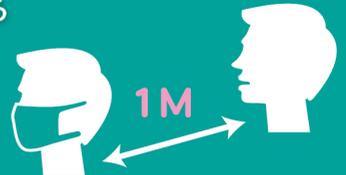
- ▶ 石鹸もしくはエタノール含有消毒液を使う
- ▶ 手を洗うタイミング：
トイレの後
鼻をかんだ後
食事の前
看病の前後
エレベーターのボタンや
ドアノブなどに触れた時



呼吸器に異常がある時のエチケット



- ▶ 外出する場合はマスクを着用する
- ▶ くしゃみをする時はティッシュ、ハンカチ、衣類の袖で口と鼻を覆う
- ▶ エレベーター内での会話は避ける
- ▶ 呼吸器に異常がある場合はマスクを着用し、屋内では1.5m、屋外は1m程度、人と距離を取る



体に異常がある時は家で休む



- ▶ 発熱、せき等の症状がある時は必ず受診する
できるだけ外出は避け、家で休む
- ▶ 隔離中は外出、出国、公共交通機関の利用を避ける
- ▶ 発熱や呼吸器に異常がある場合は、常にマスクを着用し、地方衛生局か1922に電話をして受診の手配をする

病院で受診する際は、渡航歴、職業、接触歴を医師に告知する

